

いあいさつ

泉連区長 駅前区長 土本 公平

真夏の強烈な日射しを受ける季節であり乍らこの外7月は梅雨の延長が感じられ、不快指数の高い憂鬱とうい日々この今日此の頃です。

泉町民の皆様方にはご健勝の事とお喜び申し上げます。泉の自治だより」を創刊して以来、私共は、私共の街泉地区は、土岐市の中心であり、心臓部であり、歴史的にも常に他地区をリードし、先達となつてまいりました。だが最近大変御迷惑であることは承知しておりますが、過ぎ

し一年を顧みずとき私共の住む町がこれよりよいのであるのかとの想いと、かくありたいと願う方々の多いことをも知りました。

「泉の自治だより」を創刊するにあたり、私は次の様な挨拶を申し上げたと記憶しております。それは、我が街泉地区は、土岐市の中心であり、心臓部であり、歴史的にも常に他地区をリードし、先達となつてまいりました。だが最近大変御迷惑であることは承知しておりますが、過ぎ

就任雑感

この三ヶ月の間に

久尻区長 今井 善正

四月から七月までの三ヶ月間に、年間行事の大半が集中すると聞いていました。多忙の中に早くも三ヶ月が経過しました。

昨年度は、第二清掃センターの設備拡充による地元補償に加えて、ゴルフコース増設の地元同意と、大きな二つの課題の結論づけをされたことは、区長へ相当のエネルギーを注入された結果であると同様に、今年度は後継に努力したいと考えています。

当区は、その世帯数が二千を越えましたが、更に目前に泉北県営住宅の増設や、田の洞田地（五斗時）の造成も加わり、加速的に増加することは必至であり、名実共に新しい土岐市の表

活への密着をめざし、国

政治・経済・文化等に対する関心やその取り組みは年々都市化傾向にあると評される反面団結力・活力、の低下が指摘されていると、申し上げましたように昨年九月の市議会議員の選挙に当り皆様から多大の御支援を戴きながら七名の立候補者で五名の当選しか出来なかつた事は、もとより我々自治会役員力不足であり申し訳なく思っておりますが、悠に十名以上の市議員を送り出す事の出来る昨年のアンケート集計と泉町としての要望、五、泉中学校増設案に伴う運動場拡張の要望、六、第二清掃センター建設に伴ない五斗時よりの新道路建設要望。

七、土岐市駅周辺再開発着工に至るまで駅裏無料駐車場を泉自治会へ利用委託要望。

八、河合駅新設置運動への協力。

九、泉地区の市議団と、区長会との懇話会。

一〇、泉連区より助成金を出している諸団体との懇話会。

日頃は私共自治会の諸活動に對しまして、多大なるご協力、ご指導を賜り心より厚くお礼申し上げます。このたび、計らずも区長の大役を仰せつかり、浅学な私にはその責務の重さを痛感している次第でございますが、歴代の区長さまを愛し発展をこい願ひの我々が町をよりよい街づくりの皆さんが築いてこられた路を守り、本年度の各役員を以て地域の皆様方のご意見、ご指導を頂きながらよりよい街づくりに全力を尽くしていきたく存しておりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

おきまして、町内会、自治会の機能について改めて考える、話し合いを致しました。二、共同防衛機能：防火、防犯、交通安全など。三、環境整備機能：下水道、ゴミ、街灯、道路等の管理など。四、行政補助機能：行政連絡の伝達、募金協力など。五、圧力団体機能：行政への陳情要請、議会への利益代表者の推せんなど。六、町内会、自治会の開催による意見交換、諸施策の決定など。

これらはいずれも、共通の地域社会、生活が少しでも改善、向上し明るく住みよい街づくりを推めていく

協調と融和を大切に

大富区長 山口 益雄

内容のものばかりです。しかし、これらを具体的に実践していくためには、私達役員が一致団結して汗と知恵を出し合い行動していかなくてはなりません。そのためには、私達は「協力と融和」を基本に、地域の皆様のご意見と伝統を大切にしながら諸事業を推し進め、この一年を有意義に務めさせて頂くことを確認致しました。

経済情勢、社会情勢が益々よくなる中、私達の活動を通しながら又地域の意見を市政にも反映させ、行政ともども、活力ある街に住みよい街、文化の香り高い街づくりを目指して渾身の努力をしていきたいと考えております。

地域の皆様方の温かいご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

県、市とも積極的な努力されていくことを、様々な事例によって痛感しています。しかし、このような姿勢とは裏腹に、去る五月十七日の市に対する土木関係要望内容点検の時に、住宅が密集しているも、市道の認定が無いから（私道）舗装が出来ないとして、手続方法の説明のみに終わった所が数カ所ありました。素朴な市民感覚では、建築基準法の確認結果によって住宅があるのに、何故か？、行政と立法間の至ではなからうかと考えざるを得ませんでした。

尚、ご存知の通り昭和八

年に土岐川下流の改修工事が完了しましたが、僅か三十年足らずで伊勢湾台風の集中豪雨により、又、四十七年には駄知線の鉄橋まで決壊するという度重なる水禍を招きました。その僅か後には、泉北団地の開発計画が発表されましたが、当

これらの事実をみつめる

現在では、関係法が整備されているとはいっても、私達の生活が確実に安全だとする保障は何処にもありません。

以上生活環境にスポットをあてた結果になりましたが、より一歩前進する為に皆様方のご指導とご叱正を賜りますようお願いいたします。

以上生活環境にスポットをあてた結果になりましたが、より一歩前進する為に皆様方のご指導とご叱正を賜りますようお願いいたします。

安心出来るご葬儀を

名陸自認可 霊柩車事業・通産省認可 全葬連加盟店

総合葬祭 **やまと葬祭**

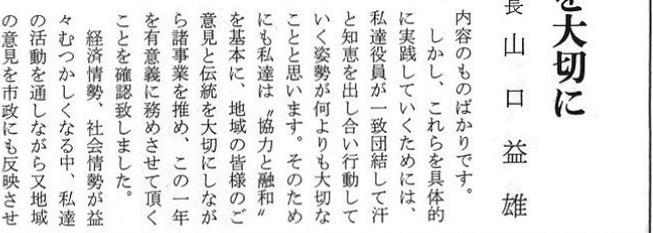
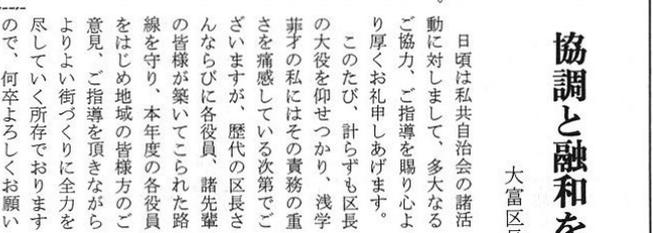
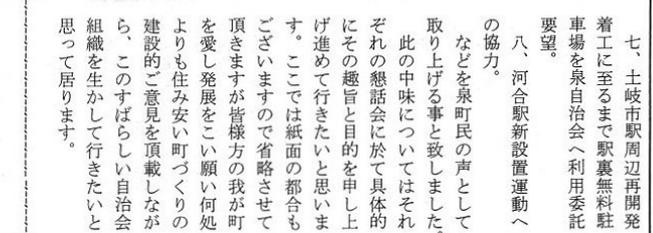
● JR 共済組合指定 ● 電気通信共済会指定 ● 郵政弘済会指定

土岐市泉岩畑町2-59(駅ウラ)

54-3421

☎(0572) 54-8378

F A X 55-0124



日頃私共自治会の諸活動に對しまして、多大なるご協力、ご指導を賜り心より厚くお礼申し上げます。

このたび、計らずも区長の大役を仰せつかり、浅学な私にはその責務の重さを痛感している次第でございますが、歴代の区長さまを愛し発展をこい願ひの我々が町をよりよい街づくりの皆さんが築いてこられた路を守り、本年度の各役員を以て地域の皆様方のご意見、ご指導を頂きながらよりよい街づくりに全力を尽くしていきたく存しておりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

お申し込み お問い合わせは当店へどうぞ。

日立チェーンストール・日立家電サービス技術認定店

(株)セゾク電化

本店 土岐市泉岩畑町2-64 定休日 水曜日

土岐店 瑞浪店 配付ハヤシ店

TEL 54-4578(代表)

愛をかたちに...

シャディ

土岐ギフトセンター

(TEL) 55-5802(代)

細部にわたって

気くばりを

定林区長 水野 一人

泉町の皆様には、御健勝のため、行政各庁の適切なこととお喜び申し上げる対応を願って居ります。何と申しましても、住み

此のたび定林区長をお引き受けし、微力ではあり目標ではないかと存じ、各種団体との交流をも密にしたいと申して居ります。一つにも子供の事故につながるりかねない等、細部にわたって気くばりをしたいと思つて居ります。此の間も一区民の方より申し出があり、現場に行きましたら、よく今まで事故がおきなかったものだと思つた程で、早速応急処置をした様にもあります。身近な場所であったのに、大人ばかりのくらしに、奇形があるとの話題が出

自分には気が付かず、恐



い気持ちでしたものです。場所によっては、町民の方々にも御協力をいただきたくなくはない事もあり、行政町民一体となつて、くらし良い環境にすべく、努力していきたいと思つて居ります。

河合区の結集を

河合区長 沢田 隆光

泉町の皆様には、御健勝の事とお喜び申し上げます。この度、河合区の区政を担当する河合区長になりましたが、浅学非才でございます。不馳れで執行業務の自信がありませんが、区民の皆様のご理解と、ご協力、ご支援によりまして区長の責を果したいと思つて居ります。何卒よろしくお願ひ致します。今年度は河合駅(仮称)設置、区画整理事業等、重大課題が山積し、今年度一年で処理出来るものではございませんが、重大な年度でございます。駅設置については、土岐商工会議所、鈴木会頭を世話人代表に選任、塚本佳和を向上させようとする意図も、この再開発の必然性の中に含まれて居ります。そうした大極に立つた見通しは別としても、土岐市駅前(仮称)の状況は「駅」というものが通動、買い物、行楽といった市民生活に密着して来た時代から「車社会」の到来によって、その利用度合が限られ、駅の発達と共に集積して来た商業地が、いつの間にか車社会にそぐわないものになって来た事と、人口六万五千の街といえる人達が、全域の人達で、駅前の商店を利用する人達が、全員の半分以上は元々な事だと思つて居ります。再開発という大手術をしなければ、およそ活性化にはほど遠いものとなっております。JRRが駅を設置するわけがない。余剰人員を切り捨て、不採算路線を整理するため民営化したばかりでこの地域は、私鉄との競争がなく、地元熱意だけでは設置は不可能で、JRに対し、将来、利用者が増加し、JRにメリットがあるというビジョンを示すことが肝要であります。駅設置と区画整理事業と切り離して考えることは、不可能で市当局のご理解とご指導を期待する次第でございます。又、河合区民の皆様には大局の見地に立つて、将来を考え、土岐市の活性化につながる、大切な事業でありますので、皆様の高度な見識と、区民一致団結し、封建的な考えから脱皮し、民主的に話し合い、是非事業実現を期待するものでございませう。

部分が多いからである。今、日本の産業構造は、高度成長時代を支えて来た加工型輸出産業が沈滞しつつあり、変つて内需主導型のサービス業者が台頭する時代に入つて来て居ります。そんな中で都市部の再開発は、内需波及効果の最大の効率を握るものとして、時代の脚光を浴びているものであると言えませう。その事をこの土岐市に充てはめても、伝統的な産業である陶器を中心とした工業生産高と、人口六万五千の街といえる人達が、全域の人達で、駅前の商店を利用する人達が、全員の半分以上は元々な事だと思つて居ります。再開発という大手術をしなければ、およそ活性化にはほど遠いものとなっております。限つて居る潜在の商業購買

再開発の課題

協土岐市商店会 開発室 室長

吉沢 守

土岐市の駅前商業地を、もう一度作り直して、新しい街に甦らせようとする計画が、もう随分前から持ち上つて居る。その中で、何れも色々な選挙がある度に、駅前地区に一声ぶつて人達が「駅前再開発に協力します」というフレーズを投げかけては、いつの間に何の進展もなかつた。この懸案も、ここに来てようやく基本構想の発表、基本計画の策定、そして考える会の発足と、ようやくそのアウトラインが明らかにな

今、日本は、高度成長時代を支えて来た加工型輸出産業が沈滞しつつあり、変つて内需主導型のサービス業者が台頭する時代に入つて来て居ります。そんな中で都市部の再開発は、内需波及効果の最大の効率を握るものとして、時代の脚光を浴びているものであると言えませう。その事をこの土岐市に充てはめても、伝統的な産業である陶器を中心とした工業生産高と、人口六万五千の街といえる人達が、全域の人達で、駅前の商店を利用する人達が、全員の半分以上は元々な事だと思つて居ります。再開発という大手術をしなければ、およそ活性化にはほど遠いものとなっております。限つて居る潜在の商業購買

を向上させようとする意図も、この再開発の必然性の中に含まれて居ります。そうした大極に立つた見通しは別としても、土岐市駅前(仮称)の状況は「駅」というものが通動、買い物、行楽といった市民生活に密着して来た時代から「車社会」の到来によって、その利用度合が限られ、駅の発達と共に集積して来た商業地が、いつの間にか車社会にそぐわないものになって来た事と、人口六万五千の街といえる人達が、全域の人達で、駅前の商店を利用する人達が、全員の半分以上は元々な事だと思つて居ります。再開発という大手術をしなければ、およそ活性化にはほど遠いものとなっております。限つて居る潜在の商業購買



そしてこの事(再開発という大事業)がただ単に商業地の活性化という事柄のみ問題ではなく、超スピードで高度化する日本の都市機能にマッチしないという周辺の住民、つまりは泉町の自治の近代化という面も提起している重大な課題であり、広くは土岐市全体の大課題であると言つても過言ではないと思つて居ります。そのような条件について、住民がいつまでも「そうである」「らしい」あるいは「再開発をやるげない」など他人事のような事を思つている時期ではなく、着実に進みつつある行政レベルの計画と併行して、直接、間接に影響を受ける住民が、「再開発」という大事業に

日本経済協会認定

美濃焼

登鉢 湯

系おき 饅頭

不老棉

贈るにのせに菓子をお世を

土岐市泉町中央町 TEL 54-4141



やすや

俱

軒 園 兼

中央線土岐市駅前

本店(0572)55-2229(代) 売店(0572)55-2088 54-1404

再度 大富仲森池改修について

前号は新土岐川橋建設に伴う、土岐市環状線の大富浅野線の泉町発展の姿についてお知らせしました。

今回は、泉自治だより第二号に、現在工事が行われている、大富仲森池の工事概要が記載されたが、内容が専門的にわたり、充分に理解して頂けなかった向もあり、もっとわかり易く説明してほしいとの声もあり再度ご報告申し上げます。

流域の概要

伊野川は土岐市の北部標高三〇〇米級の山地に源を発し、東から宮川(通称窯川)、西からお杯川(大後町方面の水を集める)の支流を合して、泉町の市街地を貫流して、土岐川にそそぐ、流域面積約三、二平方

一級河川伊野川には現在迄にどのような施策が行われて来たのかを考えてみた。

伊野川は土岐市の北部標高三〇〇米級の山地に源を発し、東から宮川(通称窯川)、西からお杯川(大後町方面の水を集める)の支流を合して、泉町の市街地を貫流して、土岐川にそそぐ、流域面積約三、二平方

泉の歴史シリーズ 古墳時代

古墳について土岐市史には次の如く記されている。

大字小 宇 備考 河合牛ヶ平一 休石 三一 破壊 馬屋平五 破壊

宮の前 三 中島 一 破壊 勝負 一 乙塚(国指定) 段尻巻二 (県指定) 葛洞 一 破壊 上が峯九五横六三破壊 大富西山 五

西洞 一 破壊 宗源洞 一 破壊 北山 二 二 破壊 東山 二 不確任 中山 一 三の輪一 破壊 原 一 炭焼 二 (県指定)

近年これらの地域の開発が急速に進み、都市化傾向が強く、これに伴って治水安全度の向上策の実施が強く望まれている。

伊野川は国の事業として昭和五十八年度から、土岐川合流点より中央本線までの間を、逐次北に向って改修工事が行われ、又県の事業としては、昭和五十六年から中央本線より北に向って、国道十九号線までの間の改修工事が行われている現状である。

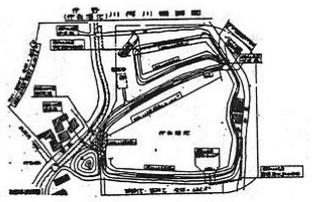
特定保水池整備事業 伊野川の中流域にある仲森池より供給されているか

この系図でわかるように、第十代崇神天皇の孫であるが、日本書紀によれば、景行天皇行幸の折、ぜひ弟姫を妃と言われたが、これを姉にゆずった事が記されている。それから考えてみてもみゆるわしき姫であったことだろう。

又泉小学校の校庭整地のため、明治三十四年に壊された三輪古墳は、乙塚にも優る大きなもので、乙姫の夫君にあたるとも想像される三輪氏の墓とも言われている。男尊女卑の時代に乙塚以上のものが造られたことがうかがわれる。今それとをしのぶ字異はどこにも見当らない。

今回泉町誌を編集するにあたって、執筆者グループで、数日にわたって、古老の案内をうけて実地踏査を

く、上流は山地域であるため、河川勾配が急で、その流出現象が急激であることから、人為的操縦の不要な横越流方式が考えられた。



池の湖床の堀削が考えられ、この仲森池の利用である。

総工事費は三億円で、昭和六十一年度は三〇〇万円、ボーリングや、土質試験を行い、技術指針が作成された。昭和六十二年度は一億一九〇万円、ボーリング調査、及び護岸工事の大半が行われ、昭和六十三年度は、一億五〇〇万円、残りの護岸工事及び越流工事がなされる予定である。

前記不確認及びそれ以外の古墳をご存知の方は泉町誌に記したいと思っておりますのでご連絡下さい。

(文責 田中 鈴夫)

泉町誕生百年を 目前に向えて

泉町誌の歩み

泉町誌について非常な関心をもって頂き、その歩みを知らせてほしいとの要望がありましたので、経過の概要を申し上げます。

編集委員会は毎月開き、五回に及んでいます。その間、岡田仁一氏、田中光義氏を囲んで座談会を開き、種々御指導をうけました。

なお皆さんの要望にそった泉町誌をつくるため、先般「知りたいこと、記載してほしいこと」アンケートを二百名にとり、多数のよいご意見を頂き、記載内容に自信を深めました。

現在は町内から提案して頂いた資料、故田中静夫先

生資料、市役所に保管してある泉町時代の資料等をもとに研究を進めておりますが、要望にお答えするにはまだまだ資料不足です。八月には各部門で是非欲しい資料を回覧板でお願いする計画でおります。その節には是非ご協力のほどを

なお今後の編集計画は次の通りであります

八月 執筆者項目提示
九月 頁数大綱提示
十月 粗原稿提出
十一月以降 分科会研究
一月 正原稿提出
二月以降 編集会議
六月以降 印刷
十月 出版

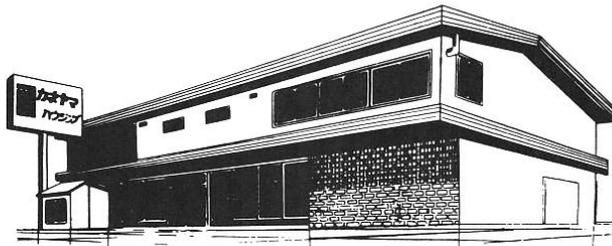


・中道改修と歩道橋のかけがえ
・農業用取水樋管の新設
・北側市道橋のかけがえ
・横越流堰の築造
・西側歩道橋のかけがえ等が計画されている。

本工事は、法律の制定後全国にさきがけて行われるもので、テストケースとして、各方面より注目されている。

完成後は、洪水調整池として、農業用かんがい貯水池として、又都市計画公園として、多目的な目的を果しつつ、土岐市民のいこいの場として利用されることであろう。

豊かな住まいづくりと暮らしをご提案!



カネヤマハウジング

〒509-51 土岐市 泉森下町 2
TEL (0572)54-3195(代) FAX (0572)54-8451

よって長大! みて長大! かって長大!

カシヨップ 長大

営業時間
AM 9:30
PM 9:00

土岐市泉神栄町2丁目62
TEL 55-1844